

# 事業計画書記載要領

## I. 事業計画書の構成

事業計画書は全体で3ページの構成となっており、それぞれ以下の目的を持たせております。

- 1 ページ目：「誰が」 フェイスシートとして、会社概要等を記入してください。
- 2 ページ目：「何を」 ビジネスイメージとして事業計画の全体が一覧できるように事業をまとめてください。特にどのような事業なのか、どんな商品・サービスなのかを明確にしてください。
- 3 ページ目：「どのように」「いつ、どのくらい」 商品・サービスをどのように販売していくのかを中心に、具体的な行動計画と事業実績・計画を、損益計算書と資金計画の具体的な数値として記入してください。

## II. 各項目の記載要領

(事業計画書 1ページ目)

### 事業計画書(例)

#### 1 事業名等

- ・事業名 **事業名を1行(30字以内)で表現してください。**どんな事業なのかを一言で説明できることが、プレゼンテーションの第一歩となります。  
**発表企業に決定すると、当センターのホームページや参加募集のチラシ等に掲載しますので、商品・サービスを明確にまた簡潔にアピールしてください。**
- ・事業分野 申請事業計画に該当する事業分野に**1つだけチェック☑**を入れてください。
- ・発表目的 希望する目的に**チェック☑**を記入してください(複数選択可)。

事業名	<u>(どんな事業なのかを1行で表現してください)</u> (30字以内)
事業分野	<input type="checkbox"/> 医療・福祉 <input type="checkbox"/> 生活文化 <input type="checkbox"/> 情報通信 <input type="checkbox"/> 環境エネルギー <input checked="" type="checkbox"/> 新製造技術・新素材 <input type="checkbox"/> 運輸・物流 <input type="checkbox"/> ビジネスサポート
発表目的 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 融資 <input type="checkbox"/> 業務提携 <input type="checkbox"/> 代理店募集 <input checked="" type="checkbox"/> 販路開拓 <input type="checkbox"/> その他 ( )

#### 2 会社概要

- ・御社の企業概要を記入してください。原則として、提出日現在のデータに基づいて記入していただきますが、未創業の方は、仮称・予定で記入してください。

会社名	〇〇〇〇〇〇〇株式会社		設立年月	平成15年7月
代表者名(役職・氏名)	代表取締役 〇〇 〇〇		資本金	10,000千円
住所	〒651-0096		発行済株式数	2,000株
	神戸市中央区雲井通0-0-0		額面金額	500円
担当者(役職・氏名)	専務取締役 〇〇 〇〇		業種	〇〇〇製造業
電話番号	TEL	〇〇〇(〇〇〇)〇〇〇〇	主要な商品 (サービス等)	〇〇〇〇機械 〇〇〇〇装置
	FAX	〇〇〇(〇〇〇)〇〇〇〇		
従業員数	社員	7名	パート等	10名
会社略歴	・会社略歴は、創業設立時から経営上重要な事業内容、新製品の発売、事業所の設置等を記入してください			
既存事業の概要	・既存事業の概要は、申請事業以外の既存の事業がある場合に記入してください。			
経営者のプロフィール等	・経営者のプロフィール等については、経歴やこの事業に関連する経験・能力・資格等を記入してください。また、経営理念・ビジョンについても記入してください。			

### 3 取引状況等

- ・ 主な取引先（販売先・仕入先）をそれぞれ上位3社程度記入してください。
- ・ 株式を発行している場合、株主の状況を記入してください。
- ・ 自己資金は現在の手許資金、外部調達金額は当面（概ね1年間）必要とする資金を記入して下さい。
- ・ 株式公開の予定の有無と公開予定時期を記入してください。
- ・ 「中小創造法等」の欄は過去に中小企業創造活動促進法、中小企業新事業活動促進法の認定を受けた場合に認定時期を記入してください。
- ・ 「公的支援等」の欄は新産業創造プログラム、産学連携、第二創業・新分野進出、生活・サービス産業創出等の補助制度の認定を受けた場合に、その事業名称及び認定時期を記入してください。
- ・ 「メイン銀行」「主幹事証券会社」「キャピタル会社」の欄以下は、取引のある金融機関を記入してください。
- ・ 財務状況については、過去3期分の売上高、経常利益、純資産を記入してください。

主な取引先 (上位3社)	販売先		比率	仕入先		比率
	〇〇〇〇社		30%	〇〇〇〇社		50%
	〇〇〇〇社		25%	〇〇〇〇社		20%
	〇〇〇〇社		10%	〇〇〇〇社		10%
株主の状況	株主名		所有株式数	所有割合	役員・会社との関係	
	〇〇 〇〇		1,000株	50%	代表取締役	
	〇〇 〇〇		500株	25%	取締役	
	〇〇 〇〇		300株	15%	知人	
	〇〇 〇〇		200株	10%	関連会社	
		株	%			
資金調達希望額	自己資金	30,000千円		外部調達	20,000千円	
株式公開の予定	<input checked="" type="checkbox"/> 有	(令和2年 10月頃)		<input type="checkbox"/> 無		
外部機関との 取引状況	項目		有無	内容・取引先		
	中小創造法等		<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	(平成26年 4月:経営革新計画承認 )		
	公的支援		<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	(平成26年 7月:ものづくり補助金 )		
	メイン銀行		<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	金融機関名( チャレンジ銀行 )		
	主幹事証券会社		<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	企業名( )		
キャピタル会社		<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	企業名( )			
財務状況 (過去3期分)			前々期(H30年3月期)	前期(H31年3月期)	直近(R2年3月期)	
	売上高		50,000千円	100,000千円	150,000千円	
	経常利益		△5,000千円	10,000千円	20,000千円	
	純資産		△10,000千円	0千円	10,000千円	

(事業計画書 2ページ目)

4 ビジネスイメージ図

・事業計画内容をそれぞれの項目で1ページにまとめてください。

①事業名・事業概要

(事業名) <b>事業名は1ページ目</b> の事業名と同じものを記入してください。(30字以内)
(事業概要) 事業概要は計画の概要を70文字程度のPR文にしてください。ここには、さらに【事業】を詳細(優位性・成長性・市場性・実現性等)に解説してください。(50字~70字以内)

②社会的な背景

・事業が必要とされる社会的な背景や環境、ニーズ等を説明してください。

【必要性】

【ユーザーメリット】

③事業開始の動機

・事業を開始するに至った動機や経緯を記入してください。

【開発のきっかけ・事業への想い、熱意】

④商品サービスの内容

・事業が「どのような商品・どのようなサービスを提供するのか」を明確にしてください。

【商品価値】

⑥ターゲット市場

・販売ターゲットがだれで、どんな時に利用するのかという観点からまとめてください。

【この商品・サービスを売り込みたい業界、商談したい企業】

⑤競合状況

・事業に関する同種のサービス、類似品との競合状況について記入してください。

【独自性】(他にない強み)

【優位性・差別化】(他社とどう違うのか)

⑦市場規模・動向

・ターゲット市場の規模(対象エリア・顧客数等)と、その市場の動向(今後の成長性等)を記入してください。

【市場性・マーケット調査】

【成長性】

⑧事業の特徴

・上記の②~⑦をまとめて、商品・サービスの差別性、優位性、利便性の点から、事業の特徴をまとめてください。

【この商品・サービスを買いたいと思う人や業者・企業へのメッセージ】

【販売促進】

⑨この事業における専門スタッフや提携先について

・事業を担当する専門的スタッフや協力体制にある他社について記入してください。

⑩この事業における特別な技術や知的財産権等について

・この事業における御社の独自技術のことを記入し、また特許、実用新案、意匠等の知的財産の出願権利がある場合には、その種類・出願番号を記入してください。

(事業計画書 3 ページ目)

5 販売戦略 (販売価格、PR方法、販売方法、販売ルート等)

- ・販売価格については、価格の設定根拠を挙げて商品・サービスの単価を具体的に明示してください。  
(例：商品1個当たり1,200円、サービス1時間当たり6,000円など)
- ・PR方法は、売り込みしたい先(一般、事業者、企業)向けに“どのように知ってもらうか”販売活動を記入してください。(例：展示会へ出展により商品のPR)

6 事業計画の進捗状況や問題点・リスクとその対応策

- ・事業計画の進捗状況や現在までの実績を記入してください。また、事業を遂行するうえで、ネックになると考えられている事項やリスク等があれば記入し、その対応策等を記入してください。

【事業スケジュール】

7 売上・利益の実績・計画

- ・過去3期の実績及び今後3期の計画を記入してください。
- ・売上については既存事業と申請事業とに分けて記入してください。  
なお、申請事業の売上に実績がなければ記入は不要です。

(単位：千円)

	実績			計画		
	前々期 (平成30年 3月期)	前期 (平成31年 3月期)	直近 (令和2年 3月期)	第1年次 (令和3年 3月期)	第2年次 (令和4年 3月期)	第3年次 (令和5年 3月期)
① 既存事業の売上	50,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
② 申請事業の売上	0	0	30,000	50,000	80,000	80,000
③ 売上高(①+②)	50,000	100,000	130,000	150,000	180,000	180,000
④ 営業利益	△4,000	12,000	15,000	20,000	25,000	25,000
⑤ 経常利益	△5,000	10,000	13,000	18,000	23,000	23,000
⑥ 税引後当期利益	△5,000	8,000	11,000	16,000	20,000	20,000
⑦ 減価償却費	0	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000

## 8 今後の資金計画

### ・資金需要

⑧～⑪ 既存事業と申請事業別にそれぞれ設備資金・運転資金を記入してください。

⑫ ⑧～⑪の合計金額を記入してください。

### ・資金調達

⑬ 自己資金（代表者等関係者からの調達、自社の利益・減価償却などキャッシュフローによる捻出等）を記入してください。

⑭ 金融機関等からの新規借入予定額を記入してください。

⑮ キャピタル等からの出資等の予定額を記入してください。

⑯ ⑬～⑮の合計金額を記入してください。

※資金需要を満たすための資金調達が確保できるよう⑯合計 $\geq$ ⑫合計の関係が成り立つことを確認してください。

(単位：千円)

		第 1 年 次 (令和 3 年 3 月期)	第 2 年 次 (令和 4 年 3 月期)	第 3 年 次 (令和 5 年 3 月期)
資金 需要	既 存 事 業	⑧ 設 備 資 金	0	0
		⑨ 運 転 資 金	20,000	20,000
	申 請 事 業	⑩ 設 備 資 金	10,000	0
		⑪ 運 転 資 金	10,000	10,000
	⑫ 合 計 ( ⑧ + ⑨ + ⑩ + ⑪ )	40,000	30,000	30,000
資金 調 達	⑬ 自 己 資 金	30,000	40,000	30,000
	⑭ 借 入 金 ( 融 資 )	20,000	10,000	20,000
	⑮ 出 資 金 ( 投 資 )	10,000	0	0
	⑯ 合 計 ( ⑬ + ⑭ + ⑮ )	60,000	50,000	50,000

## 9 その他特記事項 (A4判1ページまで可)

- ・既存事業・申請事業の内容の補足説明、その他特にPRしたいことがあれば記入してください。
- ・また、商品・サービスの写真やイメージ図等もあれば、記入（貼付）してください。
- ・発表目的を投資としている場合は、株式公開までの売上・利益などの決算スケジュールも記入して下さい。

## ●その他の留意事項

- ・事業計画書は、上記各項目の文字数が増えた場合でも、最大4ページで作成してください。
- ・事業計画書以外に、チラシ・パンフレットを添付することも可能です。